

まちづくり、都市基盤についてのまとめ

資料 1

1 審議会での主な意見

【まちづくり】

沿道の不燃化

繋がりが発生する環境づくり どの世代も快適に住めるまち

産業が活性化するまちづくり

ハードだけでなくソフトの柔らかいまちを考えていく

コンパクトなまちづくり（近い、便利、災害に強い）

これまで住んできた人が住み続けられるバランスのとれた開発

ゆるくいつも誰かが集まっている場所づくり サードプレイス

いいアイデアを社会実験しながらまちづくりを進めていく

【都市基盤】

未利用地の活用 無電柱化 バリアフリー化

路地園芸 街路樹における地域活動

コミュニティバス

ふっと座れる場所

自転車走りやすいまち 歩いて楽しいまち

自転車、電動キックボード 運転手のマナー

路地を残す 景観まちづくり 道路景観の向上

ボール遊びのできる公園

速達性と回遊性

まちづくり、都市基盤についてのまとめ

第3部会 まちづくり、都市基盤

2 10年後の未来予想図

まちづくり、都市基盤「安心と楽しさが両立するまち」

人々の生命と財産を守る、災害に強いまちが整備され、誰もが安心して暮らしています。区内それぞれのエリアごとの個性を際立たせながら、職・住・学・遊の様々な都市機能が調和して、ライフスタイルに合わせて自由に楽しめるまちになっています。

■安全に安心して暮らせる

すべての人が協力して、様々な手法を活用しながら、建物の不燃化や耐震化、避難場所の確保等に取り組み、地震・火災・水害など、あらゆる災害に強いまちをつくります。

■暮らしやすさの中でつながりを育む

それぞれの地域ごとの個性を活かしながら、交流を促進する空間づくりや、複合的な土地利用の調和を進め、暮らしに欠かせない様々な都市機能がコンパクトにまとまり、利便性が高く、あらゆる世代が暮らしやすい、住み続けられるまちをつくります。

■快適に移動できる

様々な移動手段に応じた適切な環境が整備され、子育て世帯も高齢者、障がい者も、誰もが自由・安全に移動できるまちをめざします。歩いて楽しい、歩きたくなるまちづくりを進めます。